

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 : 前処理カートリッジフィルター
R F 0 0 0 1 4 1

会社名 : 株式会社東洋製作所
本社住所 : 〒277-0861 千葉県柏市高田1335
担当部門 : 製造部 大阪工場 品質管理課
電話番号 : 072-967-1360
F A X : 072-967-1370
緊急連絡電話番号 : 上記担当部署



推奨用途および使用上の制限 : 蒸留水製造装置の精製水用

2. 危険有害性の要約

G H S 分類区分 : 該当しない
物理化学的危険性 : 分類対象外
人への健康有害性 : 分類対象外
環境有害性 : 分類対象外
G H S ラベル要素 : 絵表示なし
注意書き : 活性炭

電気障害を起こすことがある。

電気スパークと接触した場合、着火を誘う。

燃焼（酸化反応）は雰囲気ガス及び温度条件で起こることがある。

酸化剤に触れると酸化・発火・燃焼を伴う。

（例）強い酸化剤（オゾン、液体酸素、塩素、硝酸塩、過マンガン酸塩等）と接すると発熱、発火、燃焼することがある。

3. 組成及び成分情報

単一物質・混合物の区別 : 混合物
化学名または一般名 : なし
主成分 : 活性炭 (繊維状活性炭、粒状活性炭)
銀 (粒状活性炭)
ポリエステル (繊維状活性炭外筒)
プロピレンホモポリマー (外筒)

作成日 2010年 2月 5日

改訂日 2016年 1月12日

	プロピレン・エチレン ランダムコポリマー (エンドキャップ A, B)
	エチレン・α-オレフィン コポリマー混合物 (メッシュ)
	ポリプロピレンおよびポリエチレンの混合物 (中空糸膜、不織布フィルター)
	アクリロニトリル・ブタジエン・スチレン共重合体 (中空糸膜外筒)
	ポリエステルおよびレーヨンの混合物 (不織布)
	ポリアルキルアルケニルシロキサンおよび シリカを主体とする混合物 (リング)
	アクリロニトリル・ブタジエン共重合物を 主体とする混合物 (中空糸膜リング)
化学式又は構造式	: 活性炭 (C)
	銀 (Ag)
	プロピレンホモポリマー (省略)
	プロピレン・エチレン ランダムコポリマー (省略)
	ポリプロピレン (省略)
	ポリエチレン (省略)
	ポリエステル (省略)
	レーヨン (省略)
	エチレン・α-オレフィン コポリマー混合物 (C ₂ H ₄ -C _a H _{2a}) _n
	ポリアルキルアルケニルシロキサンおよびシリカ (省略)
官報公示整理番号	: プロピレンホモポリマー 化審法：(6)-402
	プロピレン・エチレン ランダムコポリマー 化審法：(6)-10
	ポリプロピレン 化審法：(6)-402
	ポリエチレン 化審法：(6)-1
	ポリエステル 化審法：(7)-1022
	レーヨン 化審法：-
	ポリアルキルアルケニルシロキサンおよびシリカ 化審法：(7)-483
CAS番号	: 活性炭 7440-44-0
	銀 7440-22-4
	プロピレンホモポリマー 9003-07-0
	プロピレン・エチレン ランダムコポリマー 9010-79-1
	ポリプロピレン 9003-07-0
	ポリエチレン 9003-88-4
	アクリロニトリル・ブタジエン・スチレン共重合体 9003-56-9
	ポリエステル 25038-59-9
	レーヨン 61788-77-0
危険有害成分	: 対象外
安衛法通知対象物質	: 該当しません

作成日 2010年 2月 5日

改訂日 2016年 1月12日

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 高温の溶融物から発生するガスを吸入したときは新鮮な空気の場所に移る。
咳、呼吸困難等の症状が出たときは、医師の診断を受ける。(外筒・エンドキャップ)
水で良く口の中を洗浄する。(活性炭)
- 皮膚に付着した場合 : 漏出した活性炭、不織布、メッシュが手に触れた場合、石けんと水で洗い流す。
皮膚の炎症が継続する場合は、医師の診察を受ける。(活性炭・外筒・エンドキャップ)
高温の溶融物が付着した場合は、直ちに水で冷やし、皮膚上に固まった樹脂は無理に剥がさず、医師の診察を受ける。(外筒、エンドキャップ)
- 眼に入った場合 : 漏出した活性炭、不織布、メッシュが眼に入った場合、直ちにまぶたを開いて押さえ15分以上の多量の水で洗眼する。至急眼科医の診察を受ける。
コンタクトレンズは外す。
(活性炭、外筒、エンドキャップ)
- 飲み込んだ場合 : 漏出した活性炭、不織布、メッシュを飲み込んだ場合、直ちに吐き出し、正常な水でうがい、洗浄等をおこなう。
異常を感じたときは医師の診察・処置を受ける。
(活性炭、外筒、エンドキャップ)

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤 : 粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素消火剤、水。
- 使ってはならない消火剤 : 特になし
- 特有の消火方法 : 火元の燃焼源を断ち、消火剤を使用して消火する。
移動可能な可燃物容器は、速やかに安全な場所に移す。
消火作業は、可能な限り粉塵を飛散させないよう風上から行う。
- 消化を行う者の保護 : 火災時には、熱分解や不完全燃焼により、黒煙、一酸化炭素等が発生するので、状況に応じて空気呼吸器、酸素呼吸器の着用が必要。
また、消火用防毒マスクなど適切な保護具を着用し、風上から消火活動をおこなう。
-

作成日 2010年 2月 5日

改訂日 2016年 1月12日

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項

保護具及び緊急時措置 : 繊維状活性炭、粒状活性炭の漏出物を取扱う際は、適切な保護具を着用する必要がある。

「8. ばく露防止及び保護措置」を参照。

浄化作業中に物質へのばく露が発生した場合は、対応について「4. 応急措置」を参照する。

環境に対する注意事項

: 繊維状活性炭、粒状活性炭の繊維は導電性を有するので、大量に粉が風で飛散するのを防止する。海洋生物、鳥類等が餌と見誤って食して死亡することがあるので、散乱防止の配慮が必要である。

二次災害の防止策

: 繊維状活性炭、粒状活性炭は、粉塵が飛散しないよう真空で吸い取るなど、下水・河川・海域への流出しない様に注意する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 : 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を必ず着用する。

繊維状活性炭、粒状活性炭の繊維は電気設備ショートの原因になるので防塵設備が必要である。

局所排気・全体換気 : 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気・全体換気対策を行う。

安全取扱い注意事項 : 適切な保護具を必ず着用し、換気のよい場所にて行う。

回避接触 : 「10. 安定性及び反応性」を参照。

保管

技術的対策 : 発火を避けるため、直射日光、高温、野外保管を避ける。また、室内であっても白熱灯、水銀灯の直下での保管を避け、高温物・火気・熱源より遠ざける。

混触禁止物質 : 「10. 安定性及び反応性」を参照。

保管条件 : 繊維状活性炭、粒状活性炭は、ガス及び蒸気(湿気)をよく吸収するので、密閉して保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度	: 3.0mg/m ³ (粒状活性炭)
許容濃度	
ACGIH勧告値	: 設定されていない。
日本産業衛生学会勧告値	: 2.0mg/m ³ 総粉塵 (繊維状活性炭、粒状活性炭) 0.5mg/m ³ 吸入性粉塵 (繊維状活性炭)
設備対策	: 活性炭の繊維は、粉塵が作業場の空気を汚染しないように密閉型装置にするか、換気・局所排気装置を設ける。
保護具	
呼吸器の保護具	: 漏出時に防塵マスク又は簡易防塵マスク着用
手の保護具	: 漏出時、防塵用手袋又はゴム手袋を着用
眼の保護具	: 漏出時、保護めがね (普通めがね型・ゴーグル型)を着用
皮膚及び身体の保護具	: 漏出時に保護衣を着用

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態	: 白色または乳白色の円筒
臭い	: 無臭
引火点	: 200℃以上
爆発範囲	: データなし
蒸気圧	: データなし
溶解度	: 水に溶解しない
n-オクタノール/水分配計数	: データなし
自然発火温度	: 250℃以上
分解温度	: データなし
酸化開始温度	: 460～480℃

10. 安定性及び反応性

安定性	: 通常の条件下においては安定である。
反応性	: 空気中での高温加熱や、オゾン、液体酸素などの強酸化剤との接触を避ける (急激な酸化により発熱・発火の恐れあり)。 (繊維状活性炭、粒状活性炭)
危険有害反応可能性	: 強酸化剤との接触は避ける。 (繊維状活性炭)
重合反応	: 特になし。

作成日 2010年 2月 5日

改訂日 2016年 1月12日

11. 有害性情報

急性毒性

- (活性炭素繊維) : (単回経口)ラットLD₅₀ 2,000mg/kg以上
(炭素) : (静脈内)マウスLD₅₀ 440mg/kg
(ポリエステル) : (経口) ラットLD₅₀ 2,000mg/kg以上

皮膚腐食性・刺激性

- (活性炭素繊維) : 粉塵が皮膚に付着すると、刺激を感じることもある。

眼に対する

重篤な損傷・刺激性

- (活性炭素繊維) : 眼に入った場合、刺激的な痛みを感じて涙が出ることもある。

呼吸器感作性

又は皮膚感作性

- (活性炭素繊維) : 過敏症の人で、皮膚に付着し刺され痒みを感じることもある。

生殖細胞変異原性

: データなし

発がん性

: データなし

生殖毒性

: データなし

特定標的臓器毒性

単回ばく露

: データなし

特定標的臓器毒性

反復ばく露

: データなし

吸引性呼吸器有害性

(活性炭素繊維)

: 長期間の黒鉛粉塵の吸引でじん肺(黒鉛肺)を起こすことがある。

12. 環境影響情報

生態毒性

: データなし

残留性・分解性

: 土中及び水中で分解することはない

生体蓄積性

: データなし

土壌中の移動性

: データなし

作成日 2010年 2月 5日

改訂日 2016年 1月12日

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

(活性炭素繊維)

: 他の物質を吸着している場合は被吸着物質の取扱い方法に従う。

密閉容器(タンク等)に湿った活性炭がある場合、器内が酸欠状態を催す産業廃棄物として処理する。

汚染容器及び包装

: 「廃棄物処理及び清掃に関する法律」に従い廃棄物処理をおこなう(国、都道府県ならびに地方自治体の法規、条例に従う)。

14. 輸送上の注意

国連番号

: 非該当

品名

: 非該当

国連分類

: 非該当

容器等級

: 非該当

海洋汚染物質

: 非該当

安全対策

: 「7. 取扱い及び保管上の注意」に記載の他、可燃性個体に関する一般的な注意に従う。

15. 適用法令

消防法

: 指定可能性(石炭・木炭類) 指定数量10,000kg
(繊維状活性炭、粒状活性炭)

指定可能物 (中空糸膜、不織布フィルター、ネット)

指定可能物 合成樹脂類(3,000kg)

(エンドキャップ A, B)

指定可能物 合成樹脂類(3,000kg)

(外筒、中空糸膜外筒)

指定可能物

(リング)

労働安全衛生法

: 粉塵障害防止規則 粉塵則別表第1第14項

(繊維状活性炭、粒状活性炭)

化学物質管理促進法

(P R T R 法)

: 対象外

作成日 2010年 2月 5日

改訂日 2016年 1月12日

16. その他の情報

引用文献

：「15107の化学商品」2007、化学工業日報社
「樹脂ペレット流出マニュアル」、日本プラスチック工業連盟1993

記載内容について

本データシートの記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、含有量、物理・化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものでもありません。

また、注意事項は通常のご取扱いを対象としたものですので、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。

ご需要家各位は本シートを参考にして、自らの責任において、個々取り扱い等の実態に応じた適切な措置をお取りくださいますよう、お願いいたします。
